

2019 年度実施概要

学校名

那智勝浦町立下里小学校

採択活動名

もっと もっと、ふるさと”那智勝浦””和歌山”の海を知ろう！

取り組みの概要

本校は、児童数90名（家庭数70）の当地方では中規模の小学校である。校区は、海岸線に面し漁港、海水浴場、磯場、ウミガメが産卵する浜辺を有し恵まれた自然環境の中にある。しかし保護者のなかで水産関係への就労者はなく、子どもたちの社会的な海とのつながりは決して高いとは言えない。加えてインターネットや携帯ゲーム機の普及により遊びが変化し、子どもたちが海と親しむ機会は減少する一方である。恵まれた自然環境や生命の多様性、産業を理解すると共に多様な体験学習を通して海洋への関心と理解を高め、未来の地域・社会を担う人の育成を目指した。

取り組みを進めるに当たって、地域の自然環境を最大限に活用し、子どもたちが様々な体験学習を行うことを全学年の共通項目とした。また、小規模校の特性も活かして低・中・高と二学年単位で取り組み、授業者同士が協議しながら計画を進め、円滑に実践できる体制をつくった。

計画を立てるに当たっては、学校全体で児童の発達段階と系統性に留意して各学年の計画を立てた。低学年では、海洋教育での経験が自然環境と人との関わり合いの原体験となるように考え、「見る」や「触れる」など感覚的な経験を重視して実践している。中学年では、「見る」「触れる」に加えて「聞く」という知識の習得や理解という側面に重点を置いた学習を展開した。高学年では、主体性の育成という観点から「調べる」ことに十分な時間を配分するとともに、グループで学習を進めることで児童間の相互作用を高めた。

活動中の写真

デジタルデータにて2～3枚の添付をお願いします。

・具体的実践 海洋生物フィールドワーク①



事前学習(全学年)



フィールドワーク(全学年)

海洋生物フィールドワーク②



事後学習(各学年)



海洋集会(各学年)

実施単元名 ※実施した単元の数に応じて記載してください

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 「うみのいきものを いっぱい みてみよう！」 |
| 2. 「くじらの博物館へ行こう！」 |
| 3. 「シュノーケリング体験学習 ～珊瑚の海をのぞいてみよう！～」 |
| |